



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 滋賀県彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

大賢虎变

令和4年 年頭のご挨拶

『芽吹きの年を迎えて』

理事長 濱口 浩一
(宮部鉄工(株) 社長)



新年、あけましておめでとうございます。

およそ2年にわたり、私たちの生活に制約を与え続けた「コロナ禍」が、漸く昨秋あたりから落ち着きを見せていましたが、新たな変異株の出現もあり、冬の季節をこのまま乗り切れるかが注目されます。また、経済面では、急激で先が見にくく原油高が、景気の見通しを憂らせていました。当組合においても、政府の緊急事態宣言や蔓延防止措置が繰り返される中で、2年続けて事業の中止や縮小、見直しを余儀なくされ、組合員や賛助会員の方々にはたいへん申し訳ないませんでした。

しかし、地元のバルブ業界は、昨年上期は全体に生産高をやや落としたものの、一部では積極的な設備投資の動きもあり、インフラや設備、物流関連などの社会の基礎的部分のサプライヤーとして、各会員企業が個々の努力と連携で、コロナや景気の影響を最小限に抑え、来期に希望を繋げておられることに敬意を表します。

2022年は、個人的にも「還暦」を迎える節目の年なのですが、ある資料によると、六十干支でいう壬寅（みずのえのとら）にあたり、この年は「陽気を孕（はら）み、春の鼓動を助く」「冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる」とありました。まさに長いコロナ禍で経験した苦労と工夫と取り組みが、公私ともに、今年に限らず長きにわたつて実を結ぶ最初の一周年になると信じたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

て実を結ぶ最初の一周年になると信じたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

『組合ならではの知恵を』

副理事長 大須賀 貴幸
(株)大鳥製作所 社長



新年あけましておめでとうございます。

昨年来のコロナ禍は昨年末にかけて落ち着きを見せてきましたが、新たなオミクロン株の出現で世界各地に急拡大する様相を呈しております。一部にはこのオミクロン株は歴史的に観察されたウイルスの進化パターンから見て、新型コロナパンデミックの終焉が近いことを示唆していると指摘している学者もおられるようで、一日でも早くアフターコロナ、あるいはウイズコロナの時代になつて欲しいと思

ます。ただ疲弊した日本の経済が急激に回復することは考えにくく、相当の時間が必要だらうと思われます。将来花を咲かせ果実を実らせるために、今年は深く根を張る一年にしたいと思いま

す。このコロナ禍で良かったことは何もありませんでしたが、一つ教訓として残してくれたことは、「普通だと思っていたことは、決して普通にある行動とともにブースター接種が肃々と進み、新型コロナウイルス感染症が沈静化（withコロナ）することを願うばかりです。

さて、弊社がお世話になつております造船・船用業界におきましては、昨年主にコンテナ船を運航する船社が過去最高水準の利益を得る一方、造船所はその手持ち工事量の危機的状況をようやく脱しつつある中で鋼材をはじめとする資材高騰に苦慮し、我々船用業界も安定供給責任と資材高騰の板挟みで同じく大変苦しい状況でした。結果的に低船価の受注となつた建造が続く本年前半もこの状況は変わらず、本年後半以降は若干の繁忙期に備えて人材確保も必要となつてくるものと予想され、コロナで生じた混乱はこれからがまことに正念場かと思われます。

『これからが正念場』

副理事長 岡 一嘉
(日の本辨工業(株) 社長)



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員並びに賛助会員の皆様には日頃よりお世話になり厚く御礼申し上げるとともに、本年も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い致します。

さて、日本では新型コロナウイルス感染状況の改善傾向が続き1日当たりの感染者数が100人前後となり、ようやくコロナ以前の生

活・習慣が取り戻せつつあった中、年末に新たな変異株（オミクロン株）が出現、欧米等でまん延が再度進む事態となりました。日本への波及が懸念されますが、本年は昨年同様我々の節度ある行動とともにブースター接種が肃々と進められました。

ただ、「地球温暖化対策に取り組んでいかな

くてはいけない」という強い意識が、特に欧米諸国を中心に覆しがたい大きな潮流になつてい

ます。これまでの弊社の活動・習慣が取り戻せつつあるのも、この変異株による影響が大きい

ことになります。

ただ、弊社がお世話になつております造船・船用業界においては、昨年主にコンテナ船を運航する船社が過去最高水準の利益を得る一方、造船所はその手持ち工事量の危機的状況をようやく脱しつつある中で鋼材を

はじめとする資材高騰に苦慮し、我々船用業界も安定供給責任と資材高騰の板挟みで同じく大変苦しい状況でした。結果的に低船価の受注となつた建造が続く本年前半もこの状況は変わらず、本年後半以降は若干の繁忙期に備えて人材確保も必要となつてくるものと予想され、コロナで生じた混乱はこれからがまことに正念場かと思われます。

最後になりましたが、組合員並びに賛助会員の皆様のご隆盛とご健勝をお祈り申

しておられます。

さ

らには、世界的な環境規制・温暖化ガス排

出規制強化拡大の中、国土交通省は国際海運に携わる船舶の温暖化対策について、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにします。その目標を掲げました(IMO=国際海事機関に提案)。この実現のために、従来の主機の主な燃料であった重油に代わり▽LNG燃料船▽アンモニア燃料船▽水素燃料船が考えられています。それでは主機や燃料供給システムなどの開発・実証などで高い技術開発能力が必要となります。日本は造船業界は昨年からM&Aを含めた再編・統合・変革を進め、研究開発のリソースを集めることに取り組んでいくようです。この規制強化拡大の中に存在するビジネス機会を逃さず捉え、弊社も身の丈にあつた成長を堅実かつ着実に進める必要があるものと思っております。

さ

る中、一企業では対応が難しいこと、複数の企業が連携することで前に進むこと、組合ならできる事を知恵を絞って事業化し、少しでも皆様のお役に立つよう努力してまいります

ので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、組合員並びに賛助会員の皆様のご隆盛とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

さ



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 滋賀県彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

新春メッセージ



『水』で社会に貢献する

(株)清水合金製作所

代表取締役社長 小田 仁志

新年明けましておめでとうございます。組合の皆様には日頃より大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

長引くコロナ禍で心配される中、一年遅れの夏季オリンピック・パラリンピックが挙行され、関係者の努力により大きな感染拡大を起こすことなく無事終了したことは快挙に等しいことでありました。種目ごとにメダル獲得はまだら模様でありましたが、過酷な鍛錬を経て臨んだ選手の真剣に競う姿は人々に感動を与えました。ウィルスとの戦いという人類未曾有の試練の中で開催できたこと自体が世の中に自信と明るさを取り戻してくれたと思います。

また、昨年は脱炭素が世界的に叫ばれ、各々の国が独自の新たな目標を打ち立てて行動を開始した年がありました。温暖化による気候変動は様々な形で人類の生活に影響を与え、起きたりうる災害の規模も益々拡大し、まさに待ったなしの状況になりました。これまで人類は炭素エネルギーと共に進歩・発展して参りました。それを転換することはあらゆる産業の根本を見直すことに他なりません。まさに新たな産業革命を進めることになります。

『素材・エネルギー革命の時代』



(株)オーケーエム

取締役会長 村井 米男

(日本バルブ工業会 理事 彦根支部長)

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。日本バル

ブ工業会彦根支部は滋賀バルブ協同組合様との共催による活動を基本にしており、組合員各位のご協力、誠にありがとうございました。しかししながら旧年中もコロナ禍による活動制限も多く、リアルな活動も出来ず、Web会議主体で、一日も早くコロナ終息が望まれます。

新年にあたり夢を大きく持ち、まずは環境負荷の低い活動を進めようではありませんか。今年の虎年が良い年でありますことを祈念し、皆様のご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げて、挨拶とさせていただきます。

しかし、今年もまだまだ先行き不透明なコロナ禍ではあります。with コロナ／after コロナを見据え新しい働き方へ迅速に移行しながら社員が個々のパフォーマンスを最大限に発揮できる様に、デジタル技術の活用により既存プロセスの効率化をすすめ、製品・サービスやビジネスモデルに変革を目指すDXに取り組むことにより、人々の生活に必要不可欠となる「水」を扱う水道バルブメーカーとして、皆様のお役に立てる製品・サービスの提供に努めてまいります。



このような変化の中でも、人間が生きるために必要な食糧と水は変わることはありません。水インフラの基盤強化は人が生きていくために不可欠であると言えます。この基盤強化に寄与する製品の開発と供給に、今年も引き続き力を注ぐことで社会に貢献して参りたいと考えています。

最後になりましたが、組合員の皆様の益々のご隆盛とご健勝をお祈り申し上げ、簡単ではございますが新年のご挨拶とさせていただきます。

おり、2019年10月に菅総理が2050年には脱炭素社会、カーボンニュートラルへの宣言をしました。その後国内においても、エネルギー政策が急速に議論され、革新的なイノベーションを起こすことが、近い将来出てくるのではないかと思わせるようになります。残された28年後には、今の化石燃料は見ることは無くなり、バルブを通る燃料流体も大きく変わり水素やアンモニアなどになるかもしれません。バルブは铸物が主材料で金属溶解に多くのエネルギーを使うので、製造法にも工夫を求められる時代がくるでしょう。素材革命も起こり、バルブ産業もついていく必要もあり、工業技術センターや大学ともコラボしながら次世代に対応する技術開発も進めましょう。

さて、昨年は「リアル二刀流／ショーティーム」が流行語大賞に選ばれ、メジャーリーグで投打二刀流の歴史的活躍を見せ、MVPに輝いたエンゼルス大谷翔平選手の活躍は、一昨年からコロナ禍でネガティブなニュースが続く中、朝から野球ファンのみならず多くの国民に夢と希望を与える存在となりました。また、無観客で行われた東京オリンピック・パラリンピックでは、12個のメダルを獲得した柔道をはじめ新競技のスケートボーラー、や3大会ぶりに復活した野球・ソフトボールでの金メダル獲得に歓喜し、コロナ禍で様々な制約がある中、世界各地からやってきた選手の活躍は世界中の人々に勇気と希望、感動を与えたのではないでしょうか。

しかし、今年もまだまだ先行き不透明なコロナ禍ではあります。with コロナ／after コロナを見据え新しい働き方へ迅速に移行しながら社員が個々のパフォーマンスを最大限に発揮できる様に、デジタル技術の活用により既存プロセスの効率化をすすめ、製品・サービスやビジネスモデルに変革を目指すDXに取り組むことにより、人々の生活に必要不可欠となる「水」を扱う水道バルブメーカーとして、皆様のお役に立てる製品・サービスの提供に努めてまいります。

最後に、皆様の益々のご発展とご活躍をこころよりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせて頂きます。



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 滋賀県彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

新春メツセージ

『新年を迎えて』

(株)大和バルブ

代表取締役社長 伊東 利一



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には日頃からお世話になり厚く御礼申し上げます。

昨年から続くコロナ禍、大きな波となつた第五波も急速に衰えましたが、海外ではヨーロッパ、韓国などまた増加傾向にある地域も出ています。新種のオミクロン株の発生も今後危ぶまれるところです。そのようななか少しずつ社会も動き始め、旅行、会食なども復活しつつあります。コロナ禍で大きくダメージを受けた飲食、観光業に比べると我々の業界は幸いにも直接的な影響は大きくなかったようです。工事の遅れなどはありますが、再開発案件を中心に公共案件、工場案件など昨年よりさらに、動いてくれることを期待しております。

また社会の規範がここ数年で大きく変わっています。環境問題、人権問題などに対する企業の取組みが問われ、特に環境問題では地球温暖化対策に対する『SDGs』『脱炭素』などのキーワードが賑わい、我々の業界も遅かれ早かれ、何らかの形で対応せざるを得ないことになるでしょう。変化は商機、チャンスを逃さず、勝機にしっかりと繋げていきたいと思います。

今年の干支は『壬寅』(みずのえとら)で、また三十六年に一度の『五黄の寅』でもあります。厳しい冬を超えて、芽吹き始め、新し

い成長の礎となるということのようです。寅は勇猛果敢、この二年続いたコロナ禍の沈滞したムードを蹴散らせて明るい年になることを祈っております。

最後になりますが、組合員の皆様のご健勝を祈念して新年のご挨拶とさせていただきま

す。

最後になりますが、組合員の皆様のご健勝を祈念して新年のご挨拶とさせていただきま

す。



『ドラステイックな変革』

代表取締役社長 中川 陽介

新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、円安の進行、原油や原材料価格の急騰、部品調達の停滞、withコロナに伴う勤務形態・営業スタイルの多様化など、業界を取り巻く環境は大きく変化しました。また、社会全体を見渡しますと、コロナ禍の影響を受けた様々な業種の疲弊、老朽化する公共インフラ、雇用のミスマッチ、気候変動の深刻化、自然災害の増加、米中対立など、難問が山積しておりますが、こうして無事に新しい年を迎えることができたことを感謝する気持ちだけは、毎年大切にしたいと思つております。

また社会の規範がここ数年で大きく変わっています。環境問題、人権問題などに対する企業の取組みが問われ、特に環境問題では地球温暖化対策に対する『SDGs』『脱炭素』などのキーワードが賑わい、我々の業界も遅かれ早かれ、何らかの形で対応せざるを得ないことになるでしょう。変化は商機、チャンスを逃さず、勝機にしっかりと繋げていきたいと思います。

今年の干支は『壬寅』(みずのえとら)で、

また三十六年に一度の『五黄の寅』でもあります。厳しい冬を超えて、芽吹き始め、新し

い成長の礎となるということのようです。寅の年男を迎えたました。12年前と比べますと白髪が目立ち始め、中性脂肪がその勢力を拡大しておりますので、あらためて干支の一巡りを実感しているところです。

今年は寅年ということで、私も4回目の年男を迎えたました。12年前と比べますと白髪が目立ち始め、中性脂肪がその勢力を拡大しておりますので、あらためて干支の一巡りを実感しているところです。



謹賀新年

角田鉄工(株)

代表取締役社長 角田 孝幸

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も皆さまからのご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



還暦を迎える次の寅年に、会社も私自身も世間から置き去りにされないためには如何にあるべきか？ 無論、この解に虎の巻はありませんので、好奇心とチャレンジ精神を忘れる事なく日々精進したいと存じます。

今年も皆さまからのご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 滋賀県彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

新春メッセージ

『ケガから得たもの』

松尾バルブ工業(株)

代表取締役社長
松尾 直樹

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、マラソンなどで足の裏や足首、くるぶしなどを痛めることになりました。ウォーキング

かつては、自分の体の変化や特徴を掴みはじめることがで
きます。この特徴を掴んだ上で、ケアするべき部分はケアし、回避できるケガはサポート
ーやインソール等で負荷を分散させること
に辿り着きました。自分の知らない自分の体
の特徴に出会えたことは本当に大きかつた
と思います。

『レツチカーポリフオローミー』

代表取締役社長
宮嶋俊介



新年あけましておめでとうございます。今年の会社のテーマは、『持続可能な選択』としています。

価値ある仕事を心がけ、不要と判断できることを思い切ってやめ、自分や周りが持続可能なやり方を選んでいくことの必要性を感じています。

人の数、その人が持っている時間などの人的資源、石油や金属、木材、水などの物質的資源には限りがあります。今、企業はこれらの資源をなるべく無駄なく“活かす”ことを求められています。

『持続可能な選択をテーマに』



「30代でもなんとか数週間程度で完治に近い状態へ。40代になると体に違和感を覚えるのと同時に一旦けがをするとき回復までに時間がかかる」といわれます。

しかしながら、体のトラブルに見舞われるごとに大きな気づきや学びも得られました。「どうしてケガをしたのか」「関節の違和感は何なのか」という目線で自分の体と向き合ふと、年齢というもの以外に見えてきたものが多くあります。

10代の頃はケガそのものをほとんどせず、或いはしたとしても短期間で完治。20

会社についても同じことが言えます。問題が起きた時に安易に処置をするだけで、その本質や物事の裏側にある声が拾えていないのではないかなど、現状を知るチャンスがあるにも関わらずスルーしていることがたくさんあります。適切な打ち手を打つ機会やチャンスを掴み損ねていることもあります。

という間に3か月が過ぎました。その節は皆さまより多大なるお祝いを頂戴し、本当にありがとうございました。

何が起ころかまったくわからない厳しい時代ではありますが、私のモットーは「レツツゴーよりフォローミー」。とにかく一生懸命働き、情熱の炎を燃やして、最前線で荒波を乗り切っていきたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

しい局面にあります。しかしながら、新型コロナウイルスという驚異に適切向き合い、そして適切にビビリながら、これに振り回され過ぎず目を凝らして本来向き合わなくてはいけない自社の本質や目的を見つめ直すこと、が、ぶれない経営の根幹となると同時に、この混沌とした時代に活路を見出す術となるような気がします。

大学を卒業して20年、そして（平均寿命的に）人生の折り返し地点となる42歳の今、再度、小学一年生の気持ちで物事に取り組み、そしてキャプテン翼の猛虎、日向小次郎のように熱く前進し、更には初代タイガーマスクの佐山悟のようになにプロ意識を高めて寅年となる本年を過ごしたく思います。

そんな企業活動・社会活動における判断には、『部分最適』ではなく『全体最適』を判断基準とすることが必要で、それがより良い『管路』、『企業』、『業界や社会』を創っていくキーワードになるのではないかと思います。より良い業界や社会の創造の一端を担えるよう、日々社員共々『ものづくり』に精進し、より良い製品・サービスの提供をしてまいりました。





滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 滋賀県彦根市岡町52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

新春メツセージ

『技術立社の精神で』

(株)水研

取締役社長 佐藤 康成



新年明けましておめでとうございます。

滋賀バルブ協同組合の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

弊社におきましては、52期のスタートに当たる昨年4月より私が社長に就任することになりました。弊社は創業以来、水道管を繋ぐ「継手」を扱うメーカーですが、滋賀県への

本社移転後に開発した不斷水工法でバルブ類も扱うことになり、令和元年より滋賀バルブ協同組合の賛助会員に入会させていただいております。改めまして、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

『塗料・塗装で御支援』

(株)高砂商店



取締役営業本部長 高岡 佑輔

令和四年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

弊社は塗料販売会社であり、大阪に本社を、近江八幡に滋賀営業所として営業拠点及び倉庫を構えて、塗料や溶剤、塗装機器、塗装設備等の販売、提案を行っております。

今年の干支は「壬寅（みずのえとら）」であります。芽が出始めたものが新たな成長の礎になる年と言われています。弊社は技術立社の精神で常日頃から新製品開発に余念なく取り組んでおります。

近年、弊社を取り巻く水道業界は水需要減少の一方、限られた予算の中、管路や施設の更新が待ったなしの厳しい状況が続いている。また、弊社が事業を継続できているのは止めることができないインフラ事業に携わっていることと同時に、弊社を支えていたいているステークホルダーの皆様方のご支援の賜と心より感謝致しております。

今年もニッチャンがらも世の中に求められます。私自身、今年4度目の年男を迎えるにあたり、人生の復路であることを自覚しながらも、全社一丸となつて社業発展のために邁進する所存です。

最後になりますが、組合員各社様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

近年、SDGs や環境問題が大きな話題となっており、塗料業界も環境への負荷低減が求められ、塗料や塗装機、塗装設備はより一層の改良が進んでおります。本年は、緊急事態宣言が発令され人流抑制があった昨年、一昨年とは異なり、様々な経済活動が活発になると考えられます。弊社も社員一同、滋賀バルブ協同組合の発展にご協力し、よりよい塗料や塗装方法のご提案を心がける所存でございます。

昨年同様に何卒、ご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、滋賀バルブ協同組合と会員、賛助会員の皆様の益々のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。



【前号の訂正とお詫び】

前号に掲載しました組合秋季ゴルフ大会の優勝者竹下元様の所属に誤記があり、正しくは「近江化学工業（株）」でございました。訂正致しますと共に、関係各位にご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

◆技術解説シリーズ ⑨ 『PE（ポリエチレン）と PP（ポリプロピレン）』

どちらも、炭素と水素から成る熱可塑性樹脂（熱で溶融する）で、射出成型や押出成形など多くの樹脂成型に対応出き、安価に生産できます。比重は1以下、吸水率は0.01%以下、無味無臭無毒です。誘電率が低く高周波材料として、電子レンジ用容器（PP材）などにも使われます。接着性が悪く、接着剤を使うときは、下地処理が必要です。分子式は良く似ていますが、PPは分子中の箇所にメチル基（-CH₃）が入っています。

相違点としては、PPは融点が高く、常用温度も高いです。また、一般にPPは固く、PEは柔らかめです。

特に注意が必要な点は、PPはPEに比べ耐候性が良くありません。酸素、塩素やオゾンにより酸化されやすく、紫外線劣化が起こりやすい素材です。PP製品を長期間、屋外に置いておくと劣化してしまいます。

用途 PE：軟質フィルム、シート、水道管、ガス管
PP：繊維、不織布、硬質シート、硬質部品、粘着テープ、硬質発泡体

通常のPEは分子量が2~30万ですが、これを100~700万まで高めた超高分子量ポリエチレン（UHMWPE）も開発・使用されており、高い衝撃性・摩耗性と使用温度範囲の広い材料として注目されています。

